

平安時代の外交

❀ 遣唐使廃止後に中国との交流はさかんになった

菅原道真が遣唐使の廃止を建議した理由の一つに「唐の国力の衰退」がありました。8世紀半ば、唐で安禄山と史思明による安史の乱がおこり、それ以後皇帝の権力が衰えていたのです。907年、ついに唐が滅亡すると五代十国をへて、960年に宋(北宋)が成立しました。宋はやがて金に攻められ、中国の南半分だけになったので、そこからは南宋と言って呼び分けています。5世紀に倭の五王が朝貢したのが南朝の宋だったので、似ていて覚えやすくなっています。違うのは、この時代の宋(南宋)との間には国交が開かれなかったことです。しかし、民間交流はかえって活発になりました。宋の商船が、明州(のちの寧波)から大宰府のある博多にさかんに来航し、日本に唐物をもたらしたのです。半面、この商船に乗って日本から宋に渡った僧もいました。もっとも有名なのは裔然です。日本に持ち帰った釈迦如来像を、京都嵯峨野の清凉寺に安置したことを覚えておきましょう。

唐が減んだ10世紀、朝鮮半島では新羅が高麗によって滅ぼされました。唐と新羅の時代は終わり、10世紀には宋と高麗の時代が始まったのです。高麗は開城を首都としました。同じ10世紀に、渤海も契丹族の王朝の遼によって滅ぼされました。あわせて覚えておきましょう。



女真族

1019(寛仁3)年、沿海州地方の女真族が博多湾を襲ったが、大宰権帥の藤原隆家らが撃退した。この事件を刀伊の入寇と言う。刀伊とは、女真族の朝鮮名で、のちに金を建国した。

女真族って言うても女性だけの民族じゃないよ



 **問題 7**

次の文の空欄の地名は何か。A～Eからひとつ選びなさい。

鎌倉時代には、南宋との間に正式の国交はなかったものの、両国の商人が大陸ではのちに寧波とよばれた（ ），日本では博多を中心にして貿易に従事していた。

- A 広州 B 杭州 C 泉州 D 温州 E 明州

06年 明治大(政経)

 **解説**

日宋貿易で使われた港では、日本側の博多や大輪田泊おおわたのとまりが出題されやすいのですが、まれに中国側の港が問われます。明州、のちの寧波です。

答え E

 **問題 8**

宋に渡った東大寺僧の（ ① ）は、983年に太宗に拝謁し、日本の「職員令」「王年代紀」を献上する。翌年には五台山を巡礼した。985年に再度太宗に謁して法済大師号と大蔵経を賜り、優填王作の伝承をもつ梅檀积迦像の模刻像を得て、寛和2年(986)年に帰国。永延3年(989)には東大寺別当に任ぜられている。

【設問1】空欄（ ① ）に入る僧の名を漢字で記せ。

【設問2】下線部の积迦像は、弟子盛算の手で京都嵯峨野の棲霞寺积迦堂を独立させた（ ② ）に安置された。その寺名を取って、この独特の様式を持つ积迦像は（ ② ）式积迦と呼びならわされている。（ ② ）に入る寺名を漢字で記せ。

07年 同志社大(法・文化情報)

 **解説**

見慣れない漢字ばかりで、何のことかさっぱりわからないかもしれませんがね。でも、難しい言葉を読み飛ばすと、「宋に渡った僧が、积迦像を持ち帰って京都嵯峨野の寺に安置した」って話になります。この時期に渡宋した僧で、入試に出るのは奮然ちやうぜんしかいないと知っていれば解けますね。出題データに精通していると、記述問題であっても選択問題に脳内変換できてしまうのです。どちらの漢字も相当注意が必要です。清凉寺を「涼」と書いてませんか？

答え 設問1 奮然 設問2 清凉寺